公立大学法人福島県立医科大学会津医療センター
放射線部門システム（PACS／REPORT）

仕 様 書

公立大学法人福島県立医科大学会津医療センター

目次

Ⅰ．記載方法･注意事項		P.	1
Ⅱ．構築業務仕様		P.	2
Ⅲ．放射線部門システム（PACS／REPORT）機能仕様	※別紙あり	P.	6

Ⅰ． 記載方法･注意事項

記載方法

１．仕様書の各機能要件に対して，対応可否を「○」「Ｘ」で回答すること．

「○」･････全て対応可能：カスタマイズを含めて対応を考えるもの（カスタマイズ費用は本費用に含む）

「Ｘ」･････対応不可能：カスタマイズ対応でも対応が困難なもの

注意事項

１．「対応可否」欄にて未回答がある場合は「×」と見なす．

２．「対応可否」欄にて「○」と回答したものは，オプション機能問わず本費用に全て含めること．別途有償は認めない．

３．上記記載方法に反している項目は「Ｘ」と見なす．

Ⅱ．構築業務仕様

対応可否記号：　○・・・全て対応可能（本費用内でのカスタマイズ対応等含む）　X・・・対応不可能

項番			要求仕様	対応可否
1	基本事項			
	1	基本事項		
		1	導入システムは平成２7年3月23日（月）までに本番稼動を行うこと。	
		2	当院の運用を確認し、職員の業務が効率的なものとなるよう、他院の事例等から有用な提案を行うこと。	
		3	職員が行う準備作業は、原則として当院の職員あるいは医療従事者でなければ困難な作業の範囲とし、それ以外はベンダ側の作業とすること。	
		4	当院が主に担当する準備作業は、十分な説明を行い、効率的なツール、方法を用いて支援すること。	
		5	マスタ整備作業等においては、十分な説明を行い、進行状況を細かく把握し、間違い、手戻り等を極小化すること。	
		6	個人情報保護法等の関連法規に該当する項目については特に細心の注意を払い、不適切な管理、無断での外部持ち出し等が無いよう充分に注意すること。	
		7	システム構築時に使用した伝票類の廃棄は確実に行い、情報漏洩等がないようにすること。	
		8	納品される図書(システム構成図、運用フロー、機能仕様書、操作マニュアル、管理資料等）は、関係部署の合意を得たものを納品し、記述は正確であること。また、機能強化（カスタマイズ）等の際は、該当図書を更新すること。	
		9	次期PACSのサーバ室として、当院の現サーバ室は非常に狭く、次期PACSサーバが現サーバ室に設置できない場合は、放射線部の一室を利用すること。電源工事やネットワーク工事などに掛かる費用は本費用に含めること。現サーバ室の下見を行う場合は、当院の医療情報部の職員同行のうえ、確認すること。	
		10	地震による移動転倒を防ぐため、サーバ機器（レベラー、キャスター付きスタビライザー等）については当院と協議の上、設置すること。（本費用に含む）	
		11	設置作業・動作確認作業はベンダにて行うこと。また、設置の下見を行う場合は病院職員同行のうえ、確認をすること。その際、電源や机等に不備がある場合は報告すること。	
		12	システムの検収は、応札仕様書をベースに追加、変更、削除等の実装結果を正に反映した資料を提示し説明すること。	
		13	検収後に発覚した瑕疵に相当する不具合や保守契約に基づくバグ修正等については、受注者の責任において対応するものとする。	
		14	入出力業務の応答速度は病院業務を円滑に遂行し、かつその作業能率の向上を実現出来る水準を有するものであること。万が一、応答速度に経年劣化が認められる場合は、保守対応の中でデータベースの最適化などの改善処置を行うこと。	
		15	ソフトウェアのインストールは電子カルテベンダと十分な協議の上、実施すること。インストール方法は事前に当院担当者に報告し承認を得た後、実施すること。	
		16	当院の医療情報端末（Internet Explore 6と8が混在）の環境でも正常に動作すること。（Internet Exploreはバージョン6以降にも対応していること）	
		17	放射線部門システム（PACS/REPORT）は、各モダリティや関連するシステム（電子カルテシステム（HIS）、放射線情報システム（RIS）等）と連携し、オンラインにて情報を取り込むことが出来る、正確かつスピードを考慮したシステムを構築すること。	
		18	既存の資産を最大限に活用する事が前提であり、現行の医用画像管理システムならびに放射線レポートシステムのデータを継続して、次期システムで利用出来ること。	
		19	画像表示が必要な院内端末を含むモニターに対する画像提供は、クライアントの種類を問わず同一のソフトウェアを使用し同一の画面構成及び操作性を実現し、使用目的に応じて最適な品質の画像を提供すること。	
		20	画像表示機能は、各モダリティ（種別・メーカ別）の特性及び表示する液晶モニターの品質を十分に把握した上で、各表示端末に対して目的に応じた最適処理をおこないモニターの表示品質を確保すること。	
		21	国内で当院と同等以上（226床）の国公立病院にて平成26年3月末時点で完全フィルムレス運用（放射線科内のみではなく院内全体で利用していること）の実績が50施設以上あり、確固たるノウハウを持っていること。また、実績施設の概要を明示出来ること。	
		22	５年後（最大７年）のシステム更新及びそれ以降の継続的な運用提供プランを明確に提案することとし、蓄積したデータを有効に長期的にトータルシステムとして継続的な運用が出来ること。	
		23	今回導入するシステムは５年間（最大７年）使用後にはハードウェアのみの更新にて継続利用出来ること。ハードウェアの共用はせず、機能毎の更新を妨げない構成とすること。また、ソフトウェアは無償で継続使用出来ること。	
		24	PACSソフトウェアについては最新バージョンがリリースされる度にバージョンアップを実施出来ること。なお、バージョンアップについては年間保守契約を締結することを条件に無償対応すること。	

Ⅱ．構築業務仕様

対応可否記号：　○・・・全て対応可能（本費用内でのカスタマイズ対応等含む）　Ｘ・・・対応不可能

項番			要求仕様	対応可否
		25	システムの安定稼働を目指しており、導入するシステムは実質稼働率が最低でも９９．９９%以上であること。また、昨年度の稼働実績をパーセンテージで公表すること。なおカタログ等資料として明示している場合はその数値で構わない。	
		26	「個人情報保護法」に対応しプライバシーマーク認証を取得している企業の製品であること。	
		27	医療用具以外に関しては、入札時点で製品化されていること。	
2	構築業務			
	1	プロジェクト体制および進め方		
		1	プロジェクトメンバーは、十分な実績を有するメンバーで構成されていること。	
		2	情報保護の観点から、システム構築に携わるＳＥは全員、事前に届け出を行い、院内の出入りに際しては、ＩＤの提示を行うか名札を着用していること。また、システム構築に携わるＳＥは全員、提供ベンダの責任において病院内の行動に関する倫理・道徳・社会常識的な指導がなされていること。なお、指導方法については、マニュアル化し、プロジェクトメンバー全員が理解した上でシステム構築にあたること。	
		3	進行管理、課題管理、品質管理、リスク管理、文書管理をベンダ主体で実施すること。	
		4	計画立案においては、ＷＢＳなどを用いて詳細に明示すること。（ガントチャートと一体となったもの）	
		5	操作研修、リハーサルについては当院との協議により決定すること。	
		6	役務作業全般において主体的に行動すること。	
		7	ワーキンググループを設け、当院担当者と十分な協議のもとシステム構築を行うこと。また、放射線部門システム（PACS／REPORT）の導入効果を最大限に引き出すための積極的な提案を行うこと。	
		8	病院業務を理解しているプロジェクトメンバーがワーキングに参画し、各種検討においては、ベンダ側は経験に基づきリーダーシップを発揮すること。	
		9	ワーキングでは、仮のシステム環境を構築し、打ちあわせ等で画面を見ながら協議出来る環境を整えること。	
		10	ワーキングでは、システムの運用フローをベースに実際の運用とのすり合わせを行い、関連部署の合意を得た最終版を提出すること。	
		11	正式な体制表はプロジェクト作業開始前に提出すること。また、体制の変更等がある場合は事前に提出すること。 体制表には役割およびＳＥ経験年数および放射線部門システム（PACS／REPORT）従事経験年数を記載すること。	
		12	プロジェクトリーダーは、プロジェクトの全工程において専任すること。	
		13	プロジェクト進捗、課題対応状況等は、定期的に当院の医療情報部門担当者へ報告すること。	
		14	各種打ち合わせを行った場合、議事録はベンダ側が作成すること。また、議事録は打ち合わせ後５日以内に当院へ提出し、その承認を得ること。	
		15	進捗に遅延の予兆が発生した場合は、対策を含め直ちに当院の医療情報部門担当者へ報告すること。	
	2	機器の設置		
		1	機器の搬入経路は、当院へ確認すること。	
		2	機器設置後に現地にて試運転、使用説明を行うこと。	
		3	使用説明添付文書・取扱説明書を提出すること。	
		4	納品機器の名称・型番・シリアルナンバー・機器画像・機器分類等を記載したものを書面で提出すること。ただし、納入機器が個別に分離する場合、単体ごとに名称・型番・シリアルナンバー・機器画像（jpg形式）を一覧にし、提出すること。	
		5	納品機器には、故障時等の緊急連絡先を記載したラベルを貼ること。	
		6	搬入、据付、配線、電源工事、現有設備の撤去、調整、設置後の使用説明、添付文書・取扱説明書の提出に要する全ての費用は受注者の負担とする。	
	3	システム動作検証		
		1	システムの単体テスト、連携テスト、総合テスト等を十分に行い、システムを安定に稼動させること。検証作業に必要な機器等はベンダが準備すること。	
		2	不具合や問題点を含めた進捗状況を適正に管理するため、管理表等を作成するとともに定期的な報告を行うこと。	

Ⅱ．構築業務仕様

対応可否記号：　○・・・全て対応可能（本費用内でのカスタマイズ対応等含む）　X・・・対応不可能

項番			要求仕様	対応可否
		3	ベンダはテストの実施手順書・チェックリスト等を作成し、最終的に成果物として納品すること。	
		4	当院が行うテストについても運用テストを含めた実施手順書・チェックリストを作成するとともに確認作業時のフォローを行うこと。	
		5	当院で使用している医療情報端末、もしくは同じ環境の端末においても動作検証を行うこと。	
	4	操作説明（研修）		
		1	可能な限り当院の意向に沿った研修内容、期間で操作説明（研修）を実施すること。操作研修内容については、実績に基づいた提案を行い、当院との協議により決定すること。	
	5	リハーサル検証		
		1	新システムおよび運用に対する理解度の向上を図るため、最低１回はリハーサルを行うこと。	
		2	リハーサル内容については、実績から当院に合った提案を行い、放射線科、放射線部、医療情報部門担当者と協議し決定すること。	
		3	リハーサル時の手順書・マニュアルを作成すること。	
		4	リハーサルは、業務に支障のないよう、原則、当院の外来診療時間外に行うこと。	
		5	リハーサル終了後は、反省会を開催し、課題検討、運用調整などを主体的に行うこと。	
	6	稼働立ち合い		
		1	稼働時の立会いについては、放射線科および放射線部、医療情報管理部門と協議し、対応を決定すること。	
		2	稼働時にシステムの不具合等が発生した場合は、業務への影響を極小化するために、受注業者の責任として上記以外に「体制の強化」「対応期間の延長」等を行うこと。	
		3	立会い者は、その役務として十分なシステム機能および運用知識を備えていること。	
		4	問い合わせに対する対処、異常発生時における対処、臨時処置等は情報を共有し、対応にばらつきが出ないようにすること。	
		5	不測の事態を想定し、当院および患者への影響を最小限にするための体制をとること。	
	7	マニュアル作成・管理		
		1	教育や運用に必要なマニュアル類を作成すること。当院固有の機能、運用が反映できていること。 ・システム操作マニュアル（正規版） ・システム操作マニュアル（簡易版）※必要に応じて。 ・操作研修マニュアル	
		2	その他運用、管理に必要なマニュアルは漏れなく作成し、当院へ提出すること。	
		3	システムの機能強化（カスタマイズ）等により、各種マニュアルの改訂が生じた場合は、滞ることなく更新し提供すること。これは、同システムが運用される限り継続されること。	
	8	既存機器の撤去		
		1	撤去、廃棄においては、対象機器について当院と詳細を確認して行うこと。	
		2	廃棄においては、廃棄証明書を提出すること。	
		3	ＰＣ等のデータ記憶の可能性がある機器については、データを消去し、データ消去証明書を提出すること。	
		4	ＰＣ等のデータ記憶の可能性がある機器については、情報の流出等に細心の注意を払い確実な作業を行うこと。	
		5	関連する全ての費用を本費用に含めること。	
3	稼働後の保守体制			
	1	稼働後の保守体制		
		1	サーバ保守において２４時間電話対応が可能であること。また、光回線を使用したオンラインの故障診断と軽微な修復等が行えること。オンラインの故障診断が運用可能な通信速度にすること。	

Ⅱ．構築業務仕様

対応可否記号：　○・・・全て対応可能（本費用内でのカスタマイズ対応等含む）　X・・・対応不可能

項番			要求仕様	対応可否
		2	サポート体制については２４時間電話対応が可能であり、リモートにより迅速な対応が可能であること。またリモート回線による２４時間監視機能により故障予測対応ができ、現地に１時間以内に到着可能な場所に５名以上のサービス員を擁する自社運営のサービス拠点があること。故障時はメンテナンス依頼より、遅くとも２時間以内に担当者が到着して処置にあたることが出来ること。	
		3	他病院で起こったトラブル事例が整理されていること。トラブル発生時は全国の各拠点に通知し、同じ原因でトラブルが起こらないよう管理する体制を有するとともに、重大なトラブルについては速やかにユーザーが把握出来るよう障害情報を公開する仕組みを有すること。	
		4	サーバ保守については、故障時の対応修理だけでなく、大規模障害を未然に防ぐための定期点検（３カ月に１回程度）を含む保守を行うこと。点検において、サーバ停止を伴う場合は、当院の許可を得て実施すること。 また、サーバハードウェアの異常については、２４時間監視する体制を持ち、サーバの障害状況を遠隔で監視し、障害時にはシステム担当者が当院に速やかに出動出来ること。障害発生時には、当院が指定する当院システム担当者にも速やかに報告すること。	
		5	円滑なシステム運用を行うために、当院側の誤操作による障害時でも回復作業を支援すること。また、原因が不明であったとしても、回復作業を支援すること。	
		6	障害発生においては、原因、経過、臨時対応、復旧対応、予防対策等を具体的記した資料を作成し報告を行うこと。状況によっては、途中経過の報告を行い、当院および患者に与える影響を極小化するように努めること。	
		7	システム障害に備えて、障害レベルに応じた障害対策マニュアル案を提示すること。これは、ベンダの豊富な実績から有用な提案を期待するものである。	
		8	サーバを含め導入した全ての機器は、稼働から１年間は、保証、保守の対応を無償で行うこと。	
		9	ソフトウェアの保守は導入後１年間は無償で行うこと。導入後の軽微な要望は極力保守の範囲で対応すること。また、ベンダの瑕疵による不具合等については、期間に関係なく無償で対応すること。	
		10	営業担当者は、システム安定稼働後も定期的に当院を訪問し、課題、要望、問い合わせ等の把握、整理に努めること。また、各種対応や報告は迅速に行うこと。	
		11	導入後において稼働状況を検証した結果、本仕様書の要求を満たさないと判断した場合は、期間に関わらず無償で機能対応すること。（カスタマイズとなる場合も含む）	

Ⅲ．放射線部門システム（PACS／REPORT）機能仕様

対応可否記号：　○・・・全て対応可能（本費用内でのカスタマイズ対応等含む）　X・・・対応不可能

項番			要求仕様	対応可否
1	基本要件			
	1	基本要件		
		1	２４時間の診療体制を支えるため、２４時間３６５日休止することなく、良好なレスポンス下で安定稼動し、いつでも利用出来るシステム、構成であること。	
		2	システム間連携などは、可能な限り標準化技術に基づくプロダクトでシステムを構成すること。	
		3	導入するパッケージソフトウェアは最新のグレード及びバージョンであること。	
		4	必要に応じてパッケージのカスタマイズがある程度柔軟に行えること。	
		5	必要なWindowsServerライセンス、Windowsクライアントライセンスを有すること。	
		6	配信画像やレポートは、電子カルテシステムからシングルサインオンでログインし、参照出来ること。	
		7	今回は行わないが、地域医療連携において、Internetを利用した連携診療所からの検査予約、画像・レポートの返送・診療予約等、将来的な拡張性を持つシステムであること。	
	2	データバックアップ		
		1	各データベースは通常業務の遂行に支障なくバックアップが行えること。なお、バックアップについては、スケジュールソフトを利用するなど、完全自動化すること。	
		2	万が一の障害発生に備え、障害前の状態へ迅速に復元出来るよう、全サーバ、バックアップ（自動）を定期的（１日１回）に行うことが出来ること。また、世代管理を行い、復旧時の保守管理操作も容易であること。	
		3	次期PACSベンダは、稼働時に必要なバックアップ媒体を準備し、保守の範囲内として定期的に媒体交換を行うこと。（劣化によるエラー前を交換の目処と考えている）	
2	医用画像管理システム（PACS）- 基本機能			
	1	基本要件		
		1	DICOM3.0規格に基づく通信機能を有し、各診断装置からの画像受信(Storage SCP)が可能であること。	
		2	CT、MR、CR、XA、NM、PET、MG、RF、SC、US、DXのDICOM Strageサービスクラスをサポートしていること。	
		3	Patient Root Q/R Find、Patient Root Q/R Move、Study Root Q/R Find、Study Root Q/R MoveのDICOM Q/Rサービスクラスをサポートしていること。	
		4	画像データは、HIS、RIS、Report端末のハードディスクを経由せずメモリに直接展開され、高速な画像表示が行えること。	
		5	DICOM規格（Ver3.0）に準拠した各画像診断装置（CR、DR、CT、MR、DSA、RI、エコー、フィルムディジタイザ、3Dワークステーション等）のオリジナル画像を取り込むと同時に、Wavelet圧縮処理画像を生成し格納出来ること。また、ネットワークインフラ状況やビューワクライアントの用途に応じて、オリジナル画像またはWavelet圧縮処理画像の配信が行われること。	
		6	Wavelet圧縮率はモダリティ毎に圧縮比を設定可能であること。	
		7	各モダリティから受信した画像データとRISから受信したデータのオーダ番号と患者IDが一致した場合、画像データのヘッダ情報を放射線情報システムから取得したデータをもとに作成出来ること。	
		8	各画像診断装置が画像について持っている各種パラメータについて、DICOMタグとなっているものについては、これを受け取り画像表示に反映させること。DICOMタグになっていないものについては、情報の受け取りについて、当院と協議の上、可能な限り実現すること。	
	2	検査画像管理		
		1	当院で発生する画像（CR、CT、MRI、DR、マンモ、アンギオ、RI、エコー、３Dワークステーション、その他必要とする画像）をDICOM(ver.3.0)オリジナルとして管理運用をすること。	
		2	画像を管理・保存すると共に参照したい場所で必要に応じて簡単な手法で迅速に画像が参照出来ること。	
		3	システム更新時に既設データの利用、データ移行をスムーズに行えるよう標準規格DICOM(ver.3.0)にてデータを保存すること。	
		4	電子保存の三原則における「真正性」に基づき、診断に用いた確定画像が改ざんされることなく診断当時と同様に画像表示をすること。また、個人情報保護とセキュリティーの確保を目的とし、米国で法律化されたHIPPA法（Health Insurance Portability And Accountability）に対応した機能を有すること。	
		5	電子保存の三原則における「保存性」に基づき、DICOM(ver.3.0)オリジナル画像にて運用必要相当分のオリジナル画像データを安定的に保存すること。非可逆圧縮によるデータ保存は認めない。また、システム更新時に既設データの利用、データ移行をスムーズに行えるよう標準規格DICOM(ver.3.0)にてデータが保存されること。	

Ⅲ．放射線部門システム（PACS／REPORT）機能仕様

対応可否記号：　○・・・全て対応可能（本費用内でのカスタマイズ対応等含む）　X・・・対応不可能

項番			要求仕様	対応可否
		6	電子保存の三原則における「見読性」に基づき、標準規格DICOM(ver.3.0)に対応したさまざまな画像表示装置にて、画像保存装置内の画像表示が出来ること。また、モニタの劣化が読影・診断の妨げとならないために、標準規格DICOM(ver.3.0)Part14に基づき定期的にこれらを測定・補正・管理し、フイルムと同等の見え方を維持する機能を有すること。	
		7	PACS送信後のデータであってもユーザID、パスワードにより限定した管理者が画像の削除、付帯情報の変更が可能であること。	
		8	読影専用ワークステーションに画像配信し、最初の画像を2秒以内に表示出来ること。	
		9	現行のPACSの過去画像をデータ移行後に表示出来ること。	
		10	管理されている全ての画像（オリジナル画像）が数秒以内に、院内全ての端末に対してオンデマンド表示出来ること。	
		11	現行のPACSおよびREPORTからデータ移行を行ない、次期PACSおよびREPORTを安定稼働させること。	
		12	現行の読影用PACS(富士フィルムメディカル社製：SYNAPSE)の読影済み画像について、過去画像参照の際に連携をすること。	
	3	検査リスト表示		
		1	PACSサーバ内に保存されているデータを以下のフォルダに自動的に分類出来ること。 （1）本日の検査 （2）本日の検査：モダリティ別 （3）最近1週間の検査 （4）最近1週間の検査：モダリティ別 （5）最近1ヶ月の検査 （6）最近1ヶ月の検査：モダリティ別 （7）全検査 （8）全患者	
		2	分類された患者や検査をリスト表示出来ること。	
		3	患者リストには「患者ID」「患者氏名」「性別」「生年月日」を表示出来ること。	
		4	検査リストには「患者ID」「患者氏名」「オーダー番号」「モダリティ」「検査項目」「検査日時」「画像枚数」「検査ステータス（予約、到着、レポートあり）」を表示出来ること。	
		5	リストに表示された検査を各項目でフィルタリング（検索）出来ること。	
		6	リストに表示された検査を各項目でソート（並べ替え）出来ること。またソートは第3ソートまで可能なこと。	
		7	フィルタリングしたリストのショートカットを作成出来ること。	
		8	リストの内容をXML形式やCSV形式で出力出来ること。	
		9	WEBブラウザ（URL指定）を利用して検査リストを表示出来ること。	
		10	フォルダごとにアクセス権を設定出来ること。	
		11	設定したフォルダに新しい検査が追加されたときに通知出来ること。	
		12	読影予約することにより検査をロック出来ること。	
		13	既存読影用PACSサーバー上の検査をリスト上に表示出来ること。	
		14	動画参照解析システムサーバ、Thinsliceサーバの検査をリスト上に表示出来ること。また、将来的には表示対象を他の部門サーバへ拡張出来ること。	
		15	リスト上に検査のサムネイル画像を表示出来ること。	
		16	リストで選択した検査画像を他の機器にDICOM転送出来ること。	
		17	リストで選択した検査画像を外部記憶装置（CD-ROM、DVDなど）に出力出来ること。	
		18	読影端末にて変更・保存した濃度・拡大・アノテーション等の表示条件を全表示端末にて再現出来ること。	
		19	画像参照について、患者の撮影履歴が時系列で表示出来る機能（カレンダー形式の画面）を有すること。	

Ⅲ．放射線部門システム（PACS／REPORT）機能仕様

対応可否記号：　○・・・全て対応可能（本費用内でのカスタマイズ対応等含む）　X・・・対応不可能

項番			要求仕様	対応可否
		20	カレンダー形式の画面内には、画像・レポートの起動ボタンを儲け、ボタンを押下することにより対象の画像・レポートが起動すること。	
		21	カレンダー形式の画面上の検査をクリックすると、該当検査画像のサムネイルがポップアップ表示されること。また、サムネイル画面内で画像送り・拡大・階調変更の機能を有すること。	
		22	患者の検査履歴を一望出来るように、カレンダー形式画面では、検査日一覧と検査履歴一覧との切り替えが可能であること。	
		23	カレンダー形式の画面で動画参照解析システム（KADA）の検査を表示出来ること。また選択した検査の動画が参照出来ること（動画参照解析システム（KADA）が起動出来ること）。	
		24	将来的に他の部門システム（内視鏡システム、生理検査システム等）と連携することができ、カレンダー形式の画面に検査画像等を表示出来ること。	
		25	他院からの取込み画像（内視鏡画像等）をカレンダー形式の画面に表示出来ること。また、院内撮影画像と区別出来ること。	
	4	検査画像表示		
		1	リストから選択した検査画像を表示出来ること。	
		2	検査画像を開く際、モダリティなどの条件により、過去検査画像を同時に表示するかどうかを選択出来ること。	
		3	既存の電子カルテシステムの検査結果画面、オーダ画面から、WEBブラウザ（URL指定）を利用して、指定された検査画像を表示出来ること。	
		4	ユーザおよびモダリティごとにあらかじめ設定された表示フォーマット（以下、読影プロトコル）に従い、シリーズ画像をスタック/タイル表示出来ること。	
		5	読影プロトコルではシリーズ表示順、シリーズ表示レイアウト、イメージ表示レイアウト、過去検査（6検査以上）、過去シリーズ画像を指定出来ること。	
		6	読影プロトコルでシリーズ表示レイアウトを指定する際、検査内のシリーズ数に応じて最適にレイアウトを変更する自動レイアウト機能を選択出来ること。	
		7	読影プロトコルは複数登録でき、検査画像表示後にユーザが切り替え出来ること。	
		8	読影プロトコル適用後に表示される画面が複数にわたる場合、前後および任意のプロトコルステップに切り替え出来ること。	
		9	読影プロトコルをユーザがモダリティごとに設定出来ること。	
		10	検査画像表示時に患者情報パネル（患者番号、患者名、性別、検査時年齢、検査日、検査項目群、オーダ番号）を表示出来ること。	
		11	検査画像表示時に同一患者の過去検査リストを表示出来ること。	
		12	過去検査リスト内に既存読影用PACS(富士フィルムメディカル社製：SYNAPSE)の検査を表示出来ること。	
		13	過去検査リスト項目には「検査日」「モダリティ」「検査項目群」「レポート、メモのあり/なし」を表示出来ること。	
		14	過去検査リストを各項目でソート出来ること。	
		15	過去検査リストをモダリティで絞り込み出来ること。その際、複数のモダリティを指定出来ること。	
		16	過去検査リストで選択されている検査を現在表示されている検査に追加して比較表示（6検査以上）出来ること。	
		17	過去検査リスト内の検査数が多い場合、リストをスクロールするのではなくリストを拡大表示して検査を選択出来ること。	
		18	過去検査を現在表示されている検査に追加して比較表示する際、現在検査に施した処理（W/L値、拡縮、パンなど）が初期化されないこと。	
		19	検査画像表示時にシリーズ画像のサムネイルバーを表示出来ること。	
		20	サムネイルバーには過去検査リストで選択されているすべての検査のサムネイルが表示出来ること。	
		21	サムネイルバーのサムネイル上でシリーズ画像をスタック表示出来ること。	
		22	サムネイルバーにてシリーズ番号、シリーズ情報、画像枚数を表示出来ること。	
		23	サムネイルバーにて表示中/表示済/未表示のシリーズ画像を識別出来ること。	
		24	サムネイルバーを画像表示モニタごとに表示し、それぞれのモニタ内で選択した検査画像のサムネイルを表示出来ること。	
		25	患者情報パネルを非表示に出来ること。	
		26	過去検査リストおよびサムネイルバーを非表示に出来ること。	
		27	過去検査リストおよびサムネイルバーを表示するかどうかをユーザおよびモダリティごとに設定出来ること。	
		28	サムネイルバーからシリーズ画像のサムネイルをドラッグ＆ドロップしてシリーズを上書き／挿入表示出来ること。	
		29	シリーズ画像のサムネイルをドラッグ＆ドロップしてシリーズを上書き／挿入する際、複数のシリーズを指定出来ること。	

Ⅲ．放射線部門システム（PACS／REPORT）機能仕様

対応可否記号：　○・・・全て対応可能（本費用内でのカスタマイズ対応等含む）　X・・・対応不可能

項番			要求仕様	対応可否
		30	シリーズ画像の操作によりシリーズをコピー／移動／入れ替え／削除して表示出来ること。	
		31	マス目を塗りつぶす形式にてシリーズの表示レイアウトを変更出来ること。	
		32	検査に含まれるすべての画像を1シリーズ（全画像シリーズ）として表示出来ること。	
		33	シリーズ画像内で「前シリーズ」「次シリーズ」「シリーズ一覧」を指定してシリーズを切り替え出来ること。	
		34	選択したシリーズのみをワンアクションで適切なレイアウトにて表示し、さらにワンアクションで元のレイアウトに戻せること。	
		35	画像参照について、患者の撮影履歴がモダリティ毎に時系列で表示出来る機能（カレンダー形式の画面）を有すること。	
		36	カレンダー形式の画面内には、画像・レポートの起動ボタンを儲け、ボタンを押下することにより対象の画像・レポートが起動すること。	
		37	カレンダー形式の画面上の検査をクリックすると、該当検査画像のサムネイルがポップアップ表示されること。また、サムネイル画面内で画像送り・拡大・階調変更の機能を有すること。	
		38	患者の検査履歴を一望出来るように、カレンダー形式画面では、検査日一覧と検査履歴一覧との切り替えが可能であること。	
		39	カレンダー形式の画面で動画参照解析システム（KADA）の検査を表示出来ること。	
		40	将来的に他の部門システム（内視鏡システム、生理検査システム等）と連携することができ、カレンダー形式の画面に検査画像等を表示出来ること。	
		41	他院からの取込み画像（内視鏡画像等）をカレンダー形式の画面に表示出来ること。また、院内撮影画像と区別出来ること。	
	5	患者および検査に関する機能		
		1	患者に対するテキストメモを保存／表示出来ること。またメモを作成する際はユーザごとの定型文を利用出来ること。	
		2	患者に対する音声メモを録音／再生出来ること。	
		3	患者に対するドキュメントを保存／表示出来ること。	
		4	患者に対するスキャンドキュメントを取込／表示出来ること。	
		5	過去検査リストから検査情報を表示出来ること。	
		6	過去検査リストからオーダ情報を表示出来ること。	
		7	過去検査リストから検査レポートを表示出来ること。	
	6	検査画像操作		
		1	マウスの右、左、中、左右（両押し）ボタンのそれぞれに画像操作機能を割り当てることが出来ること。	
		2	画像操作モードの切り替えおよび画像操作をキーボードショートカット、アイコンメニュー（コントロールボックス）、右クリックメニューにて実施出来ること。	
		3	キーボードショートカット、アイコンメニュー（コントロールボックス）、右クリックメニューはユーザごとにカスタマイズ出来ること。	
		4	画像操作モードの切り替えおよび画像操作をツールボックスにて実施出来ること。	
		5	画像を表示した際の画像操作モードを「前回値」もしくは「初期値」に設定出来ること。	
		6	画像操作中に画像操作モードをワンアクションで「前回値」もしくは「初期値」に戻せること。	
		7	１回の操作で複数の操作を行うプリセット（複合コマンド）を作成し、それをメニューやショートカットキーから実行出来ること。	
		8	シリーズ画像に対して、以下の画像操作が出来ること。 階調変更、拡大・縮小、移動、ページング、部分拡大（虫めがね）、左右反転、上下反転、左右90度回転、 180度回転、画像フィット表示、ピクセル等倍表示、被写体フィット表示	
		9	CTやMRのシリーズ画像に対して任意角度の左右回転が出来ること。	
		10	シリーズ画像に対して、以下の画像処理操作が出来ること。 階調プリセット処理、白黒反転処理、シャープネス／肺強調処理	
		11	W/L値の数値入力によりシリーズ画像の階調を変更出来ること。	
		12	画像上で任意に領域を指定後、領域内で最適なW/L値を計算して画像全体にそのW/L値を適用出来ること。	

Ⅲ．放射線部門システム（PACS／REPORT）機能仕様

対応可否記号：　○・・・全て対応可能（本費用内でのカスタマイズ対応等含む）　X・・・対応不可能

項番			要求仕様	対応可否
		13	階調プリセットはユーザおよびモダリティごとに最大9個までユーザが設定出来ること。	
		14	マウス操作による階調変更時のW/L値増減方向および変化速度をユーザごとに設定出来ること。	
		15	モノクロ8bit画像に対して階調を変更出来ること。	
		16	RGB画像に対して明るさ／コントラストを変更出来ること。	
		17	拡大・縮小率の数値入力によりシリーズ画像を拡大・縮小表示出来ること。	
		18	拡大・縮小率プリセットを利用してシリーズ画像を拡大・縮小表示出来ること。	
		19	画像初期表示時の表示倍率を指定出来ること。	
		20	マウス操作によるシリーズ画像の拡大・縮小時の上下方向および変化速度をユーザが設定出来ること。	
		21	マウスホイールを利用してシリーズ画像を拡大・縮小表示出来ること。	
		22	シリーズ画像をページングするためのスライダーバー機能を利用出来ること。	
		23	マウス操作によるシリーズ画像ページング時の画像読み飛ばしON/OFFおよび変化速度をユーザが設定出来ること。	
		24	シリーズの最初および最後の画像へワンアクションで移動出来ること。	
		25	シリーズ画像をシネ表示（昇順／逆順表示、開始、停止、速度調整）出来ること。	
		26	シリーズ画像をシネ表示する際、シネ操作パネル（ボタンアイコンなど）を使用せずにマウス操作のみで昇順／逆順表示、開始、停止、速度調整が出来ること。	
		27	DICOMフレームレートを考慮して動画像をシネ表示出来ること。	
		28	シリーズ画像を逆順にソート出来ること。	
		29	マウスホイールを利用してイメージ表示レイアウト（タイル表示のレイアウト）を変更出来ること。	
		30	シリーズ画像をダブルクリックすることで1モニタに対してシリーズ表示レイアウトを1×1表示でき、再度ダブルクリックすることにより1×1表示を解除出来ること。	
		31	画像上でマウスポイントを移動することで、FOVが同一で別シリーズの画像上の同一位置に自動的にポインタが表示され3次元動作出来ること。	
		32	画像にブックマークを設定しブックマーク画像のみを表示出来ること。	
		33	画像のDICOMヘッダ情報を一覧で表示出来ること。	
		34	現在および過去のCR画像を利用して経時差分画像をその場で生成し表示出来ること。	
		35	形状認識（部位認識）を利用して、脊椎および肋骨の骨ラベリングが行えること。	
		36	形状認識（部位認識）を利用して、指定した部位へスライス移動出来ること。	
		37	画像上で以下のアノテーションを付加・計測出来ること。 画素値、距離、角度、テキスト、矢印、矢印+テキスト、楕円ROI、矩形ROI、多角形ROI、フリーハンドROI	
		38	領域の自動認識によりアノテーション（ROI）を付加・計測出来ること。	
		39	交わらない2直線の角度を計測出来ること。	
		40	4点および6点計測法を用いて、2つの線分の長さおよび比率を計測出来ること。	
		41	計測途中においても計測値が表示されること。	
		42	画像のPixel Spacingを補正して計測出来ること。	
		43	Pixel Spacingを含まない画像に対して値を設定して計測出来ること。	
		44	シリーズ画像に付加したアノテーションを別のシリーズにコピー出来ること。	
		45	シリーズ画像に付加したアノテーションを同一シリーズ内の全ての画像にワンアクションでコピー出来ること。	
		46	アノテーションの計測結果を文字列としてクリップボードにコピー出来ること。	
		47	ROIアノテーションにおいて「面積」「平均」「標準偏差」「最大値」「最小値」を表示出来ること。	

Ⅲ．放射線部門システム（PACS／REPORT）機能仕様

対応可否記号：　○・・・全て対応可能（本費用内でのカスタマイズ対応等含む）　X・・・対応不可能

項番			要求仕様	対応可否
		48	ROIアノテーションにおいて「長さ」を表示出来ること。	
		49	ROIアノテーションで表示する項目をユーザごとに設定出来ること。	
		50	シリーズ画像に対して、番号ラベルのアノテーションを付加出来ること。	
		51	シリーズ画像に対して、Spinラベルのアノテーションを付加出来ること。	
		52	アノテーションを表示／非表示出来ること。	
		53	アノテーションの色およびフォントサイズを設定出来ること。	
		54	保存されたアノテーション、拡大、W/L変更を全端末で復元出来ること。	
		55	DICOMヘッダ情報を画像上にオーバレイ情報として表示／非表示出来ること。	
		56	オーバレイ情報として表示する項目をユーザ、モダリティおよびAEタイトル（+SOPクラス）ごとに任意に指定出来ること。	
		57	オーバレイ情報を匿名化して表示出来ること。	
		58	画像の表示枠に応じてオーバレイ情報のフォントサイズが変化すること。	
		59	オーバレイ情報の色およびフォントサイズを設定出来ること。	
		60	DICOM6000番台のオーバレイ情報を表示出来ること。	
		61	表示中の画像のリファレンス線を表示／非表示出来ること。	
		62	リファレンス線に画像番号が表示されること。	
		63	リファレンス線を表示する際に「最初と最後とアクティブ」「アクティブのみ」「全て」を選択出来ること。	
		64	画像にモダリティLUTを適用出来ること。	
		65	画像にVOILUT（Sigmoid含む）を適用出来ること。	
		66	画像を拡大・縮小表示する際の画素補間方法を指定出来ること。	
		67	画像上に矩形を指定してシャッター表示出来ること。	
		68	DICOMシャッター情報を表示出来ること。	
		69	画像のPixel Padding Valueを標記出来ること。	
		70	端末のモニタ種別に応じてLUTが設定出来ること。	
	7	画像出力		
		1	画像の全体もしくは選択した領域をBitmap形式にてクリップボードにコピーもしくはファイルに出力出来ること。	
		2	選択したシリーズ画像をJpeg／Bitmap形式にてファイルに出力出来ること。	
		3	選択したシリーズ画像をPPT形式にてファイルに出力出来ること。	
		4	シネ表示された画像をAVIファイルに出力出来ること。	
		5	表示中の検査をDICOM画像としてCD／DVD／ローカルディスクなどに出力出来ること。また、出力時に患者情報を匿名化出来ること。	
		6	表示中の画像をWindowsプリント出来ること。	
		7	表示中の画像をDICOMプリント出来ること。	
	8	マンモ機能		
		1	マンモCAD SRを表示出来ること。	
		2	マンモ画像の拡大・移動・階調変更の操作が左右の画像で連動出来ること。	
		3	左右マンモ画像の乳房領域の中心を合わせて表示出来ること。	
		4	マンモ画像の表示位置（左詰め／右詰め／中央揃え）を変更出来ること。	

Ⅲ．放射線部門システム（PACS／REPORT）機能仕様

対応可否記号：　○・・・全て対応可能（本費用内でのカスタマイズ対応等含む）　X・・・対応不可能

項番			要求仕様	対応可否
		5	トモシンセシス画像を表示出来ること。	
		6	マンモ機能は全端末のビューワで利用できること。	
	9	シリーズ連携機能		
		1	以下のシリーズ画像操作に対してシリーズ間の連携が出来ること。 　ページング、拡大・移動、階調・画像処理、虫めがね、回転・反転、アノテーション、領域選択、タンブリング、レンダリング	
		2	拡大・移動連携時に基準位置をずらして移動操作出来ること。	
		3	シリーズ間の各連携設定をユーザごとにON/OFF出来ること。	
		4	連携するシリーズを任意に選択出来ること。	
		5	連携するシリーズを同一検査、同一方向の条件にて自動で選択出来ること。	
		6	連携するシリーズを複数グルーピング（最大10）出来ること。	
		7	ページング連携時にDICOMタグ情報のスライス位置にて自動で同期表示出来ること。	
		8	ページング連携時に形状認識（部位認識）を利用して自動でスライス位置合わせ出来ること。	
		9	ページング連携時にスライス方向、スライス位置に関係なく画像を1枚ずつ同期表示出来ること。	
		10	スライス厚が異なるシリーズをページング連携する際、一番近いスライス位置の画像を表示出来ること。	
		11	ページング連携時に手動でスライス位置を合わせて同期出来ること。	
		12	ページング連携時にキーボードショートカットのキーダウンで同期を解除し、手動でスライス位置を合わせた後、キーアップで同期を再開出来ること。	
		13	ページング連携はシネ再生時にも動作すること。	
		14	選択されているシリーズのFOV位置をワンアクションで合わせることが出来ること。	
		15	選択されているシリーズの階調・画像処理をワンアクションで合わせることが出来ること。	
		16	DICOMタグ情報のスライス位置を利用して、複数シリーズ間で三次元的に同じ位置のイメージおよびポインタを表示出来ること。	
		17	形状認識（部位認識）を利用して、複数シリーズ間で三次元的に同じ位置のイメージおよびポインタを表示出来ること。	
	10	３D機能		
		1	シリーズ画像をMPR、MIP、MinIP、AveIP（Raysam）表示出来ること。	
		2	MPR、MIP、MinIP、AveIP（Raysam）表示時に、任意断面＋直行3断面の4分割表示に切り替え出来ること。	
		3	MPR、MIP、MinIP、AveIP画像の直行3断面をワンアクションで切り替え表示出来ること。	
		4	MPR、MIP、MinIP、AveIP画像をタンブリングしてオブリーク断面を表示出来ること。	
		5	MIP、MinIP、AveIP画像のスラブ厚をショートカットおよびマウスホイールにて変更出来ること。	
		6	MIP、MinIP、AveIP画像のスラブ厚を数値入力して変更出来ること。	
		7	レンダリング条件（例：MIP-サジタル-5mm　など）のプリセットを利用出来ること。	
	11	整形外科補助機能		
		1	計測機能としては、線分、線分の中点、線分のｎ等分点、垂直２等分線 垂直、水平線、円、円弧、任意閉領域の面積、角度、２等分角度線 拡大、縮小の各機能を有すること。	
		2	登録している計測手法に対してガイドに従い打点するだけで、計測が可能な計測手順ガイド機能を有すること。	
		3	計測手順ガイド機能は、Cobb角、膝外側角（FTA）、シャープ角、外反母趾など代表的な計測手法を登録されていること。また、新しい手順を記録する機能を有すること。	
		4	デジタルテンプレートデータを用い、手術計画をサポートする機能を有すること。デジタルテンプレートは画像上で各社のテンプレート画像を配置してサイズを計測出来ること。	
		5	デジタルテンプレートは、最低限７社以上のデータを有すること。また、デジタルテンプレートの最新データは各社からのデータ提供後に動作が確認でき次第、サポートする保守プランを用意すること。	

Ⅲ．放射線部門システム（PACS／REPORT）機能仕様

対応可否記号：　○・・・全て対応可能（本費用内でのカスタマイズ対応等含む）　X・・・対応不可能

項番			要求仕様	対応可否
		6	複数の画像間で計測を行う機能として、複数のそれぞれの画像に位置合わせ基準マーカーを配し、画像の位置合わせを実施した後に基本計測をおこなう機能を有すること。	
		7	Windowsの紙プリンターに等倍で印刷する機能を有すること。	
		8	計測した結果画像をPACSサーバにDICOMで送信する機能を有すること。	
		9	画像モニター上に等倍で表示する機能を有すること。	
		10	異なる撮影倍率で撮影された画像に対応する為、撮影倍率の変更により等倍で表示する機能を有すること。	
		11	整形外科補助機能は、当院指定の医療情報端末10台（詳細は以下を参照）で利用出来ること。 ・計測機能のみ：教授室x1、外来x3 ・計測機能＋テンプレート機能：外来x1（C-3）、4階南病棟x2、手術室x2（OR4、OR5）、教員室x1	
	12	操作補助機能		
		1	ユーザがある端末で行ったビューワの設定を、ユーザ自身で別の端末にも反映出来ること。	
		2	画像に対して行った操作を「元に戻す」「やり直す」「すべて元に戻す」「すべてやり直す」ことが出来ること。	
		3	表示中の検査の表示状態（以下、スナップショット）を一時的に保存し、再復帰出来ること。	
		4	検査を閉じる際にスナップショットを自動で保存するかどうかを指定出来ること。	
		5	ユーザがある端末で保存したスナップショットをサーバにアップロードし、別の端末にて再復帰出来ること。	
		6	過去検査リスト、サムネイルバー、シリーズ画像上で検査日が異なる検査を識別出来ること。	
		7	ビューワからオンラインヘルプが利用出来ること。	
		8	最終操作後、一定時間が経過したら自動的にアプリケーションがログオフすること。	
	13	他システム、各種モダリティとの連携		
		1	放射線レポーティングシステム（REPORT）と連携すること。また、連携費用は本費用に含むこと。	
		2	既存の電子カルテシステムと連携（Web連携)すること。また、相手側の連携費用を含むこと。	
		3	既存の放射線情報システム（RIS）と連携すること。また、相手側の連携費用を含むこと。	
		4	既存の動画参照解析システムと連携すること。また、相手側の連携費用を含むこと。	
		5	既存の3次元画像解析ワークステーション（ＡＺＥ社）と連携すること。また、相手側の連携費用を含むこと。接続先は別紙”放射線部門システム対象医療機器及び周辺機器一覧”を参照すること。	
		6	既存のアレイ社のAOC端末で、メディアからの画像取込み、フィルム取込み、メディアへの画像出力が可能であること。また、相手側の連携費用を含むこと。	
		7	別紙”放射線部門システム対象医療機器及び周辺機器一覧”を参照し、各種モダリティと接続すること。また、モダリティ側費用欄に”○”のついている機器の相手側接続費用を含むこと。	
		8	既存の地域医療連携ネットワークシステム（富士通社製：HumanBridge）と連携（画像の公開のみ）すること。相手側の作業費用も本費用に含むこと。将来的にレポートの公開にも対応出来るシステムであること。	
	14	データ移行		
		1	既存の医用画像管理システム（PACS）からStrageにより全画像データを移行すること。相手側に発生するデータ出力費用を含むこと。	
		2	現在、当院は独自のモダリティコードで運用している。次期PACSでは、DICOM規格に準拠するよう、当院と協議の上、モダリティコードを正すこと。また、移行後のシステムで院内画像、院外画像が区別出来るようにすること。	
		3	データ移行の際は、データ出力側と転送ファイルの照合レポートにより、コンバートデータの真正性を担保すること。	
	15	その他		
		1	現行の医用画像管理システム（PACS）は、動画参照解析システムとサーバを共有している（ストレージを共用利用）。ＰＡＣＳの更新に伴い、動画参照解析システムサーバとＰＡＣＳサーバを完全に分離し、動画参照解析システムサーバに必要な容量を増設する等の対応を行うこと。動画参照解析システムサーバの対応に掛かる費用は全て本費用に含めること。	

Ⅲ．放射線部門システム（PACS／REPORT）機能仕様

対応可否記号：　○・・・全て対応可能（本費用内でのカスタマイズ対応等含む）　X・・・対応不可能

項番			要求仕様	対応可否
		2	Thinsliceサーバは、15TB以上の容量を有し、CT装置の全スライス画像を保存出来ること。また、一定期間を過ぎた画像は自動で削除し、必要な画像は容易な操作でPACSへ送信出来ること。	
		3	ビューワソフトやレポートソフトのセットアップにおいて、導入時のHIS側に発生する対応費用（動作検証、インストール時の立会い等）は本費用に含めること。	
		4	上記において、RISが相乗りしている端末については、RIS側の対応費用（動作検証等）を本費用に含めること。	
3	医用画像管理システム（PACS）- 検像機能			
	1	画像受信		
		1	DICOM Storage Service ClassのSCP機能を有し、DICOM画像発生装置から出力される画像を保存・管理する機能を有すること。	
		2	受信する画像のTransfer Syntax UIDについてはJPEG_LOSSLESS_HIER_14、IMPLICIT_LITTLE_ENDIAN、EXPLICIT_LITTLE_ENDIAN、EXPLICIT_BIG_ENDIANをサポートすること。	
		3	以下のモダリティから同時に画像を受信し、PACS、Thinsliceサーバ（CT画像のみ）へ送信する機能を有すること。検像端末の設置場所、運用等は当院と協議の上決定すること。また，検像端末故障時は，接続先をPACS、Thinsliceサーバへ自動で切替えることができること。 ・ＣＴ装置（東芝メディカル社）×1 ・ＭＲＩ装置（シーメンス社）×1 ・ＣＲコンソール（コニカミノルタ社）×3	
	2	画像受信一覧		
		1	受信した画像を検査単位にて一覧表示する機能を有すること。	
		2	検査一覧では各カラムでソートする機能を有すること。	
		3	検査一覧では患者ID、Accession番号、モダリティ種別、検査日、画像発生元AEタイトルの項目にて検索する機能を有すること。	
		4	検査に紐付くシリーズ画像を一覧表示する機能を有すること。	
		5	シリーズ一覧ではシリーズ中の画像をサムネイルにて表示する機能を有すること。表示する画像サムネイルについては、シリーズ中の1枚のみ、スライス位置での最初と最後の2枚、すべて、のいずれかを選択する機能を有すること。	
		6	画像の転送状況、修正状況、検像状況により検査一覧を絞り込む機能を有すること。	
		7	受信した画像のタグ情報が閾値を超えている場合に警告を表示する機能を有すること。	
		8	画像が保存されているドライブの使用容量、全容量、空き容量をソフトウェア上に表示する機能を有すること。	
	3	画像表示		
		1	検査単位、シリーズ単位（複数選択可）にて画像を表示する機能を有すること。	
		2	検査内のすべての画像を並べて表示（串刺し表示）する機能を有すること。	
		3	モダリティ単位にてプリセットされた順番で画像を表示する機能を有すること。	
		4	モダリティ単位にてプリセットされたレイアウトで画像を表示する機能を有すること。	
		5	DICOM6000番台のオーバレイデータを表示する機能を有すること。	
		6	VOI LUT Data を有する画像に対してLUTを適用して表示する機能を有すること。	
		7	W/L値を適用する際に小数点以下をサポートして画像を表示する機能を有すること。	
		8	プライベートCR画像のパラメータを解釈して画像を表示する機能を有すること。	
	4	画像操作		
		1	マウスやキーボードを利用して画像をスタックする機能を有すること。	
		2	W/L値を変更して画像を表示する機能を有すること。さらにその際に、マウスを利用して全イメージに反映、マウスを利用して操作中のイメージにのみ反映、マウスを利用して操作中のイメージ以降に反映、プリセットの利用、手動にて値を設定、のいずれかが選択可能なこと。	

Ⅲ．放射線部門システム（PACS／REPORT）機能仕様

対応可否記号：　○・・・全て対応可能（本費用内でのカスタマイズ対応等含む）　X・・・対応不可能

項番			要求仕様	対応可否
		3	画像をスタック、W/L値変更する際のマウス感度を調整する機能を有すること。	
		4	画像をパンニングする機能を有すること。	
		5	画像を拡大・縮小して表示する機能を有すること。さらにその際にピクセルを補完して画像を表示することが可能なこと。	
		6	画像の関心領域を部分拡大して表示する機能を有すること。	
		7	画像表示時のデフォルトの画像操作モードを選択する機能を有すること。	
		8	画像を回転・反転（上下・左右）させて表示する機能を有すること。	
		9	画像を白黒反転させて表示する機能を有すること。	
		10	画像上にスタンプや塗りつぶしを貼り付けて表示する機能を有すること。スタンプについてはユーザが任意の文字をあらかじめ登録することができ、貼り付けた後にフォントサイズが変更可能なこと。さらに貼り付け時には文字色の白/黒、背景色の白/黒および背景のあり/なしを自由に選択することが可能なこと。	
		11	画像上の任意の四角で囲った領域の外側を塗りつぶして表示する機能を有すること。	
		12	プリセットを利用して画像表示順を変更する機能を有すること。	
		13	縦1画像×横1画像から縦8画像×横8画像まで、画像表示レイアウトを変更する機能を有すること。	
		14	マス目の塗りつぶしにより画像表示レイアウトを変更する機能を有すること。	
		15	マウスダブルクリックにより画像表示レイアウトを縦1画像×横1画像に変更する機能を有すること。	
		16	画像をライフサイズにて表示する機能を有すること。	
		17	1回の操作で画像のFOVを合わせて表示する機能を有すること。	
		18	シリーズおよび画像のページ送り機能を有すること。	
		19	画像に対して行った処理を1回の操作でリセット出来る機能を有すること。	
		20	ショートカットキーを利用して各画像操作を行う機能を有すること。	
	5	画像およびタグ情報修正		
		1	W/L値を変更した画像を保存する機能を有すること。	
		2	回転・反転（上下・左右）した画像を保存する機能を有すること。（ただしモダリティ種別は限定する。）	
		3	白黒反転した画像を保存する機能を有すること。（ただしモダリティ種別は限定する。）	
		4	スタンプや塗りつぶしを貼り付けた画像を保存する機能を有すること。（ただしモダリティ種別は限定する。）	
		5	任意の四角で囲った領域の外側を塗りつぶした画像を保存する機能を有すること。（ただしモダリティ種別は限定する。）	
		6	画像ビューワ上で画像を削除する機能を有すること。	
		7	複数の画像を1枚の画像に結合する機能を有すること。（ただしモダリティ種別は限定する。）	
		8	シリーズ画像を分割・結合する機能を有すること。	
		9	シリーズ一覧上でのドラック＆ドロップによりシリーズの並び順（シリーズ番号）を昇順および降順にて変更する機能を有すること。	
		10	シリーズ内の画像の昇順/降順指定により、画像の並び順（イメージ番号）を変更する機能を有すること。	
		11	画像サムネイルのドラック＆ドロップにより、画像の並び順（イメージ番号）を変更する機能を有すること。	
		12	画像サムネイルのドラック＆ドロップにより、別シリーズもしくは新規シリーズへ画像を移動する機能を有すること。	
		13	画像サムネイルを利用して画像を削除する機能を有すること。	
		14	検査画像の一部のシリーズを新しい検査に変更する機能を有すること。	
		15	検査画像の一部もしくは全てのシリーズを別の検査に移動する機能を有すること。	
		16	Study/Series/SOPInstanceUIDを新規に発行して検査画像を複製する機能を有すること。	

Ⅲ．放射線部門システム（PACS／REPORT）機能仕様

対応可否記号：　○・・・全て対応可能（本費用内でのカスタマイズ対応等含む）　X・・・対応不可能

項番			要求仕様	対応可否
		17	Series/SOPInstanceUIDを新規に発行してシリーズ画像を複製する機能を有すること。	
		18	患者名、患者ID、性別など、装置側で入力間違いのあったタグ情報を修正する機能を有すること。	
		19	タグ情報を修正する際、タグごとにプリセットの登録を可能とし、登録した内容をプルダウンにて選択する機能を有すること。	
		20	DICOM Modality Worklist Service ClassのSCU機能を有し、MWM通信にて取得した情報を利用してタグ情報を修正する機能を有すること。	
		21	画像およびタグ情報を修正する際、修正理由を入力する/しないを選択する機能を有すること。	
	6		自動画像およびタグ情報自動修正	
		1	タグ情報を自動で修正する機能を有すること。修正内容については以下の内容を満たすこと。 前後に任意の文字を付加する、任意の文字列に置き換える、半角カナをローマ字に変換する、別のタグの値をコピーする、任意の文字にて桁数を揃える、任意の文字を削除する、任意の文字以降を削除する	
		2	DICOM Modality Worklist Service ClassのSCU機能を有し、MWM通信にて取得した情報を利用してタグ情報を自動で修正する機能を有すること。	
		3	StudyInstaceUIDが異なる検査画像を1つの検査画像（StudyInstaceUIDを揃える）として自動で結合する機能を有すること。	
		4	タグ情報を利用してシリーズおよび画像の並び順を自動で修正する機能を有すること。	
		5	タグ情報を利用してシリーズを自動的に分割する機能を有すること。	
	7		操作補助機能	
		1	高精細モニタ上に表示されている画像の各操作を液晶モニタ上で操作するための画像操作パネル機能を有すること。	
		2	よく使用するボタン（アイコン）を1箇所に集めて操作するための検像操作パネル機能を有すること。	
	8		放射線情報システム（RIS）との連携	
		1	既存の放射線情報システムと連携して受信した画像の依頼情報や撮影情報を参照する機能を有すること。	
		2	既存の放射線情報システムに対して検査の再撮指示を行う機能を有すること。	
		3	既存の放射線情報システムに対して検像状況、転送（画像到着）状況、画像枚数を通知する機能を有すること。	
		4	既存の放射線情報システムと連携してログインユーザ情報を共通利用するなどの機能を有すること。	
	9		画像送信	
		1	DICOM Storage Service ClassのSCU機能を有し、保管している画像をDICOMの通信プロトコルにしたがって送信する機能を有すること。	
		2	画像送信時のTransfer Syntax UIDについてはJPEG_LOSSLESS_HIER_14、IMPLICIT_LITTLE_ENDIAN、EXPLICIT_LITTLE_ENDIAN、EXPLICIT_BIG_ENDIANをサポートすること。	
		3	画像送信時に検査単位、シリーズ単位の指定が可能なこと。	
		4	画像送信時に同時に送信可能なシリーズ数を設定出来る機能を有すること。	
		5	画像送信時に患者IDやAccessionNo.などのキー情報が含まれているかどうかを確認し、含まれていなければ警告メッセージを表示する機能を有すること。	
		6	受信した画像のタグ情報を利用し、複数のサーバに分配送信する機能を有すること。	
		7	画像送信に失敗した場合、自動的に再送信を行うリトライ機能を有すること。	
		8	送信した画像を一覧状に表示/非表示させる機能を有すること。	
		9	画像送信時に、検像システム自身が持つAEタイトル情報で送信する、もしくは画像発生元のAEタイトル情報を利用して送信する、のどちらかをあらかじめ選択する機能を有すること。	
		10	受信した画像のうち、検像中の画像については送信を行えない機能を有すること。	
		11	自動/手動送信の切り替えおよび自動送信時の画像滞留時間をユーザが変更出来る機能を有すること。	
		12	画像を自動送信する/しないを画像発生元のAEタイトル単位で指定出来る機能を有すること。	
	10		画像削除	
		1	受信した画像を検査、シリーズ、画像単位で削除する機能を有すること。	

Ⅲ．放射線部門システム（PACS／REPORT）機能仕様

対応可否記号：　○・・・全て対応可能（本費用内でのカスタマイズ対応等含む）　X・・・対応不可能

項番			要求仕様	対応可否
		2	送信が成功した画像を自動で削除する機能を有すること。	
		3	削除した画像を一時的に保管するゴミ箱機能を有すること。	
		4	ユーザ指定により自動削除対象となる画像を削除対象としない（自動削除プロテクト）機能を有すること。	
	11	印刷		
		1	DICOM Print Service ClassのSCU機能を有し、受信した画像をプリントする機能を有すること。さらにプリントの際には患者IDなどの文字情報を画像に埋め込む/アノテーションボックスを利用するのいずれかを選択可能なこと。	
	12	画像取込		
		1	DICOM Query/Retrieve ClassのSCU機能を有し、画像サーバから画像を取り込む機能を有すること。	
		2	ローカルディスク上にあるJPEG、BMP、TIFF画像をDICOM画像に変換して取り込む機能を有すること。さらにその際にMWMを利用してタグ情報を付加することが可能なこと。	
		3	ローカルディスク上にあるDICOMDIR形式の画像もしくはDICOMファイルを取り込む機能を有すること。	
	13	画像出力		
		1	受信した画像を汎用画像（JPEG、BMPなど）ファイルで出力する機能を有すること。	
		2	表示中の画像をクリップボードにコピーする機能を有すること。	
		3	受信した画像をDICOMDIR形式の画像もしくはDICOMファイルで出力する機能を有すること。さらにその際に参照用の画像ビューワを添付するかどうかを選択することが可能なこと。	
	14	管理機能		
		1	管理者専用の設定画面にて管理者が各種設定を変更出来る機能を有すること。	
		2	システム起動時や起動中にログインユーザ（ID／パスワード）の認証および変更が出来る機能を有すること。また管理者がユーザの登録や削除、ユーザ権限の付加を行うことが可能なこと。さらに認証および変更についてはON/OFFの設定が可能なこと。	
		3	ユーザ権限によって使用出来る機能を制限する機能を有すること。	
		4	画像の受信、修正、送信、削除、取込、出力が行われた際の内容は、修正者や修正理由とともに全てログに記載されること。	
4	医用画像管理システム（PACS）- 3次元画像解析機能			
	1	基本要件		
		1	3次元画像解析が専用端末，以下のクライアント端末で利用出来ること。本体の設置場所は当院と協議の上決定すること。また、クライアント端末は、以下の既存端末への相乗りでの対応も可とする。ただし、動作検証等，既存端末側に発生する費用は含めること。 ・放射線科（富士フイルムメディカル社読影端末）：読影室×2 ・放射線部（ＡＺＥ社導入端末）：技師室×1，ＣＴ操作室x1，ＲＩ操作室x1 ・病棟（フォトロン社ＫＡＤＡ端末）：5階南病棟x1	
		2	既存の3次元画像解析端末（ＡＺＥ社製）は、ThinsliceサーバやPACSと再接続を行い継続利用すること。接続先は別紙”放射線部門システム対象医療機器及び周辺機器一覧”を参照すること。また、再接続にかかる費用は本費用に含めること。	
	2	３D画像処理		
		1	外部のDICOM機器からの画像入力、出力、他のDICOM機器内の画像データの検索、取得が可能であること。	
		2	study、series、instanceレベルでの一覧表示が可能であり、患者氏名、患者ID、モダリティによるフィルタリング、検査部位での検索機能を有すること。	
		3	表示した2D,3D画像をJPEG、Bitmap、PNG、DICOM、QuickTimeVR、AVI、MPEG、WMV、QuickTimeの形式で保存が可能であること。	
		4	操作とリンクしたオンラインヘルプ機能を有し、文書内及びヘルプ内検索両方が可能であること。	
		5	DICOMプリンタ、Windowsプリンタへの印刷機能を有すること。	

Ⅲ．放射線部門システム（PACS／REPORT）機能仕様

対応可否記号：　○・・・全て対応可能（本費用内でのカスタマイズ対応等含む）　X・・・対応不可能

項番			要求仕様	対応可否
		6	VR、SSD、MIP、MINIP、レイサム、SMIP、仮想内視鏡表示、CPR表示が可能であること。	
		7	表示されている３DVRやMPRカラーに対しカテゴリ内のすべてのテンプレートをプレビュー表示し一覧で表示可能な機能を有すること。	
		8	断面、視線、球体等での表示範囲クリップ機能を有し、その表示範囲の抽出・削除が可能であること。	
		9	自動骨除去と同時に石灰化部分のマスクを作成する機能を有すること。	
		10	骨除去、肝臓抽出、骨抽出、骨頭分離がワンクリックで可能な機能を有すること。	
		11	各種解析作業状態を途中保存し、後から復元可能であること。	
		12	3D画像自体に影の写しこみが可能であること。	
		13	読み込んだ画像の信号値に合わせたオパシティカーブを自動で設定する機能を有すること。	
		14	複数シリーズ以上読み込み、すべての3D画像を自動で位置合わせをし、フュージョン表示が可能であること。	
		15	3D画像の処理を現在作業中のものを終了することなく、並列で5個以上可能であること。	
		16	キャプチャした画像をプレビューでき、編集（アノテーション追記など）が可能であること。	
		17	マスクの同時表示は9個以上可能であること。	
	3	腹部脂肪量計測		
		1	画像読み込みと同時に皮下脂肪、内臓脂肪の分離を自動でおこなう機能を有すること。	
		2	複数枚同時に（ボリュームデータを）読み込んだ場合は、臍部のスライスを自動で認識し分離をおこなう機能を有すること。	
		3	身長、体重を入力することで、BMIを算出し、その結果を元にしたレポートを出力する機能を有すること。	
		4	レポートには診断結果が自動で表示される機能を有すること。	
	4	心臓CTにおける血管評価解析		
		1	自動または手動による心臓抽出、冠動脈抽出が可能であること。	
		2	自動で血管のラベリングが可能であること。	
		3	各冠動脈の輪郭は抽出後、石灰化をはずした内径を表示する機能を有すること。	
		4	冠動脈をVR画像、SMIP、アンギオでの表示、大動脈の表示非表示をワンクリックで変更可能であること。	
		5	狭窄率の測定、プラークの測定が可能であること。	
		6	同一患者IDのXA画像の表示、3D表示向きの連動が可能であること。	
		7	ステント留置のシミュレーションが行える機能を有すること。	
		8	2つのCPR画像を並べて、90度の角度を保ったまま回転表示が可能であること。	
		9	作成した冠動脈の3D画像を利用したままその表面にSPECTの画像をマッピングすることがどのメーカーでも可能であること。但し、アプリケーションを開きなおす必要がないこと。	
		10	SPECT画像を用いた際はstress、rest間の各種計算した結果のマッピング、ブルズアイ表示が可能であること。	
		11	作成した冠動脈の3D画像を利用したままの表面にMRまたはCTの心機能解析、MR遅延造影解析結果のブルズアイ画像をマッピングすることがどのメーカーでも可能であること。但し、アプリケーションを開きなおす必要がないこと。	
		12	冠動脈解析ソフトを起動する際に、多フェーズの画像を選択した場合はいつでもフェーズを変更して解析が可能であること。	
	5	CT心臓シネ画像を用いた心機能評価		
		1	自動または手動による心臓抽出機能を有すること。	
		2	心室、心房、大動脈弁を観察する断面を自動で設定出来ること。	
		3	心臓中心軸をスライス毎に設定可能であること。	
		4	解析結果として、拡張末期容量、収縮末期容量、一回拍出量、毎分拍出量、最大充満速度、駆出率が数値として算出可能であり、且つブルズアイ表示機能を有すること。	

Ⅲ．放射線部門システム（PACS／REPORT）機能仕様

対応可否記号：　○・・・全て対応可能（本費用内でのカスタマイズ対応等含む）　X・・・対応不可能

項番			要求仕様	対応可否
		5	短軸、長軸両方向から輪郭の修正が可能であること。	
		6	心室輪郭の表面に各ブルズアイをマッピングして3Dのサーフェス表示が可能であること。	
		7	心機能の評価に用いた画像を用いて、引き続き冠動脈の評価を行うソフトが起動可能であること。	
	6	石灰化スコア算出		
		1	自動または手動による心臓抽出機能を有すること。	
		2	血管ごとのプラーク数、体積(面積)、Agatstonスコア、平均CT値、最大CT値の算出が可能であること。	
		3	2Dまたは3Dで石灰化の指定が可能であること。	
		4	スコアリングの結果をcsvファイルに出力可能であること。	
	7	心臓MRにおける血管評価解析		
		1	心臓抽出、冠動脈抽出が可能であること。	
		2	バイパス血管の抽出が可能であること。	
		3	冠動脈の中心線、輪郭の編集が可能であること。	
		4	冠動脈をVR画像、SMIP、アンギオでの表示、大動脈の表示非表示をワンクリックで変更可能であること。	
		5	狭窄率の測定、プラークの測定が可能であること。	
		6	同一患者IDのXA画像の表示、3D表示向きの連動が可能であること。	
		7	2つのCPR画像を並べて、90度の角度を保ったまま回転表示が可能であること。	
		8	作成した冠動脈の3D画像を利用したままその表面にSPECTの画像をマッピングすることがどのメーカーでも可能であること。但し、アプリケーションを開きなおす必要がないこと。	
		9	左冠動脈、右冠動脈のどちらかのすべての分岐のストレッチCPRを合成表示する機能を有すること。	
	8	MR心臓シネ画像を用いた心機能評価		
		1	短軸画像の場合、解析するスライスを設定可能	
		2	心臓中心軸をスライス毎に設定可能であること。	
		3	解析結果として、拡張末期容量、収縮末期容量、一回拍出量、毎分拍出量、最大充満速度、駆出率が数値として算出可能であり、且つブルズアイ表示機能を有すること。	
		4	短軸、長軸両方向から輪郭の修正が可能であること。	
		5	解析結果画面全体の動画出力が可能であること。	
		6	心室輪郭の表面に各ブルズアイをマッピングして3Dのサーフェス表示が可能であること。	
	9	MR心臓遅延造影解析		
		1	短軸方向または3Dで撮像された画像での解析が可能であること。	
		2	正常領域に対するSDの倍数で梗塞領域の指定が可能であること。	
		3	心筋のラインは2スライス間を補間して作成する機能を有すること。	
		4	心筋の内、外における梗塞占有率のブルズアイ表示が可能であること。	
		5	梗塞領域を3D表示する機能を有すること。	
		6	同一患者の冠動脈3D画像に遅延造影解析のブルズアイをマッピング表示が可能であること。	
	10	肝臓ボリューム計測		
		1	1シリーズのみで肝臓を自動で抽出する機能を有すること。	
		2	各フェーズの位置合わせが可能であること。	
		3	動脈、門脈、静脈は自動及び手動で抽出が可能であること。	

Ⅲ．放射線部門システム（PACS／REPORT）機能仕様

対応可否記号：　○・・・全て対応可能（本費用内でのカスタマイズ対応等含む）　X・・・対応不可能

項番			要求仕様	対応可否
		4	抽出した領域の編集（複数領域の加算、減算、カット、削除等）が可能であること。	
		5	領域の指定は15以上可能であること。	
		6	作成したボリュームレンダリング表示をサーフェス表示に変更可能であること。	
		7	血管に対しても抽出した領域の色を表示する機能を有すること。	
		8	門脈及び静脈を表示したまま支配領域の指定、抽出が可能であること。	
	11		腹部造影MR画像の観察、解析	
		1	各フェーズ間を自動または手動で位置合わせする機能を有すること。	
		2	指定したVOIのヒストグラムの表示が可能であること。	
		3	全フェーズを比較した表示が可能であること。	
		4	指定した領域をもとに自動で肝臓抽出する機能を有すること。	
		5	任意の計算式による計算結果表示が、2D及び3Dで可能であること。	
5			医用画像管理システム（PACS）- 検査画像入出力機能	
	1		画像データ取込み機能	
		1	他院から持参した可搬媒体に書き込まれたデータ（内視鏡画像も含む）をDICOM変換しPACSへ保存出来ること。また、媒体は、フィルム、CD/DVD、USBメモリ等の一般的な媒体に対応すること。	
		2	PACSへ転送、保存、管理が可能な機能を有すること。	
		3	IHEのPDIプロファイルに基づいた可搬型メディアによってもインポートが可能であること。また、DICOMタグを変更する機能を有すること。	
		4	シリーズ・ディスクリプションにモダリティ名、検査日付等、必要事項を入力出来ること。	
		5	上記データインポートシステムの一元管理を可能とし、CD読み込み装置から読み取り出来る環境を構築すること。	
		6	地域医療連携室で、他院から持参した内視鏡画像をPACSへ取込むため、アレイ社製AOC端末を地域連携室に１台追加設置すること。端末追加やソフトウェアの設定等にかかる費用は本費用に含むこと。（今回の調達では、AOC-RIS間の患者情報連携は行わない。）	
	2		画像データ出力機能（メディア作成機能）	
		1	保管されているDICOM画像を、DICOMビューワと共にDVD,CD等の可搬媒体に出力出来る機能を有すること。	
		2	IHEのPDIプロファイルによること。	
		3	指定された医療情報端末上でエクスポートする画像を選択することでエクスポートシステムへ書き込み指示が行なえること。	
		4	エクスポートする画像は医療情報端末上で検査毎、シリーズ毎、画像毎の指定が出来ること。	
		5	指定された画像データは、出力装置で画像取得操作をする事なくデータ取得が行なわれ、書込み準備されること。	
		6	承認者の認証後に出力が出来るよう、確認の操作で出力出来ること。またそのログ管理が可能なこと。	
		7	出力されるCD及びDVD上のラベルデザインは定型フォーマットではなく、カスタマイズ可能なこと。	
		8	上記データエクスポートシステムの一元管理を可能とし、CD-R・DVD-R複製機から出力出来る環境を構築すること。	
6			放射線レポートシステム（REPORT）	
	1		基本要件	
		1	IDとパスワードによるユーザ認証が行われること。	
		2	他システムからIDとパスワードを引き継いで起動することが出来ること。	
		3	ログインユーザ毎に使用出来る機能を制限することが出来ること。また、機能制限はグループ単位でも行えること。	

Ⅲ．放射線部門システム（PACS／REPORT）機能仕様

対応可否記号：　○・・・全て対応可能（本費用内でのカスタマイズ対応等含む）　X・・・対応不可能

項番			要求仕様	対応可否
		4	一定時間、システムが使用されていない場合、自動でログアウトまたはロックする機能を有すること。	
		5	ユーザーの操作ログを保存する機能を有すること。また、権限を持つユーザのみ使用可能なログ参照機能を有すること。	
		6	CR、DR、CT、MR、RI、US、XAなど、当院が必要とするレポートの作成ができること。これに掛かる費用（連携費用、ライセンスの追加など）は全て本費用に含めること。	
		7	現在放射線レポートシステムで作成している循環器レポートについて、システム更新後は既存の循環器レポートシステムで作成したいとの要望がある。循環器レポートシステム（KADA－REPORT）と放射線レポートシステムの運用の切り分けを提案し、当院と協議の上、循環器レポートが作成できる環境を整えること。（循環器レポートシステムは、以下の端末で利用できること。）これに掛かる費用（連携費用、ライセンスの追加など）は全て本費用に含めること。 ・血管撮影室×1 ・心エコー室×1 ・エコー室×1（現在、KADA端末なし．） ・手術室（CE室）×1	
		8	心エコーレポートにおいて、以下のモダリティは、当院と協議の上、レポートシステム（放射線レポートシステムまたは循環器レポートシステム）とDICOM SR連携を行うこと。モダリティ側に発生する費用を含むこと。 ・ＩＥ３３（フィリップス社製）：　必須 ・ＣＸ５０（フィリップス社製）：　接続希望 ・ＣＸ５０ポータブル（フィリップス社製）：　接続希望	
		9	レポート入力は、当院指定の医療情報端末で利用出来ること。以下の端末は必須とし，詳細は当院と協議の上決定すること。読影室の端末については，医療情報端末ではなく現行の読影端末（富士フイルムメディカル社製）での対応も可とする．ただし、動作検証等読影端末側に発生する費用は含めること。 ・教員室x1 ・放射線科：読影室×2 ・循環器内科：生理検査室（エコー室＋スタッフ通路）x6、血管撮影室x1 ・感染症/呼吸器内科：外来（Ａ－４，Ａ－５）x2、教授室x1、5階北病棟x2	
	2	データ移行		
		1	既存の放射線レポートシステムからのデータ移行を行うこと。出力条件は以下の通りとし、相手側に発生するデータ出力費用を含むこと。 移行範囲：全件 出力形式：XML（画像と文書の紐付けが出来るようにすること。）	
		2	データ移行後、過去データ全てが表示出来ること。	
	3	患者情報管理		
		1	患者基本情報、患者プロファイル情報の新規登録および変更が可能なこと。	
		2	患者プロファイル情報については、HISから取得するものとReportで登録するものを別々に管理することが出来ること。	
	4	レポート記入枠作成		
		1	放射線情報システムより患者情報、検査情報を取得し、レポートの記入枠として自動的に作成することが出来ること。	
		2	他システムから検査情報を取得出来ない場合でも、レポートシステムのみで検査情報の登録および変更を行うことが出来る記入枠作成機能を有すること。	
		3	検査情報登録時、複数の検査をまとめて登録出来ること。	
	5	レポートワークリスト		

Ⅲ．放射線部門システム（PACS／REPORT）機能仕様

対応可否記号：　○・・・全て対応可能（本費用内でのカスタマイズ対応等含む）　X・・・対応不可能

項番			要求仕様	対応可否
		1	異なる検索条件が指定されたレポートワークリストを複数のタブとして表示でき、タブをクリックするだけでリストを切り替えることが出来ること。	
		2	レポートワークリストタブはユーザ毎に設定出来ること。	
		3	検索条件は一時的に変更を行うことが多い条件は常に表示し、頻度の少ない条件は非表示とすることが出来ること。非表示の検索条件も簡単な操作で表示することが出来ること。	
		4	レポートワークリストタブの表示順序は変更可能であること。	
		5	レポートワークリストに表示する項目は設定により以下の内容がユーザ毎に指定可能であること。 リスト出力項目、出力項目タイトル、出力項目表示順序、出力項目のフォーマット・方向・幅、自動更新の有無、自動更新間隔	
		6	ワークリストよりレポート記入対象の検査を選択し、レポート記入画面に展開すること出来ること。	
		7	レポート記入画面内に記入対象の検査の一覧を表示し、レポート記入画面内のみでレポートの記入→次の検査の選択→レポートの記入、という操作が行えること。	
		8	ワークリストの一覧は設定により、レポート記入の状況により色分けして表示することが出来ること。	
		9	ワークリスト上でレポートの担当者の振り分けを行うことが出来ること。	
		10	よく使用する検索条件は定型検索条件として登録出来ること。	
		11	定型検索はユーザが所属するグループ共通で使用するもの、ユーザ個人でのみ使用するものと分けて登録することが出来ること。	
		12	定型検索の一覧より定型検索条件を選択することによりタブが追加され、検索結果が表示されること。	
		13	カンファレンスデータの収集や個人データ収集の目的でレポートを検索し、フォルダイメージで分類保存することが出来ること。分類保存されたレポートはHTML形式でファイル出力することが出来ること。	
		14	分類保存はユーザが所属するグループ共通で使用するもの、ユーザ個人でのみ使用するものと分けて登録すること出来ること。	
		15	分類の一覧より分類フォルダを選択することによりタブが追加され、分類フォルダの内容が表示されること。	
	6	レポート入力		
		1	レポート記入画面では以下の情報がウィンドウ毎にまとまって表示され、ウィンドウの配置および表示・非表示をユーザ毎で設定可能であること。 記入枠リスト、検査情報、レポート記入エリア、キー画像サムネイル、診断名、添付ファイル、定型文、検査歴、キー画像編集、テンプレート変換入力	
		2	テキスト入力による所見、診断等の入力が出来ること。テキスト入力のエリアは最大で6つのエリアを用途に応じて使用でき、検査種ごとに使用可否を設定出来ること。	
		3	入力エリアのフォントサイズ、色、サイズを変更することでき、ボールド・イタリック・センタリング・右寄・左寄せなどの文字修飾を行うことが出来ること。	
		4	テキスト入力エリアの表示サイズをパーセント指定で拡大縮小出来ること。	
		5	テンプレートによるレポート入力が可能であること。	
		6	テンプレートは標準フォーマットを提供し、当院に合わせたテンプレートも作成すること。	
		7	テンプレートは入力内容により入力項目が動的に変化する動的テンプレートの作成が可能であること。	
		8	キー画像の入力が出来ること。キー画像は、連携する画像ビューワ上の画像を簡単な操作にて入力、ファイル指定もしくはクリップボードからの入力、シェーマのリストからの入力が出来ること。	
		9	検査により必ず使用するシェーマがある場合、デフォルトシェーマを登録することにより、レポート記入画面表示時に自動的にシェーマが入力された状態とすることが出来ること。	
		10	入力されたキー画像に対して、公開/非公開の指定が可能であること。非公開と指定されたキー画像は印刷されたレポートやWEB参照画面には出力されないこと。	
		11	キー画像はサムネイルで一覧表示でき、ドラッグ&ドロップでのキー画像の並び替え、キー画像の削除、公開/非公開の指定が出来ること。	
		12	ExcelやPDFなど様々な形式のファイルを添付ファイルとして添付（複数）出来ること。	
		13	ICDコードあるいはIRDコードによる診断名の入力が可能であること。	
		14	記入されたレポートは保存したユーザの権限に応じた記入ステータスにて保存されること。記入ステータスは施設のワークフローに応じて設定出来ること。	
		15	保存時の内容は全て履歴として保存されていること。履歴の内容は簡単に参照出来ること。	

Ⅲ．放射線部門システム（PACS／REPORT）機能仕様

対応可否記号：　○・・・全て対応可能（本費用内でのカスタマイズ対応等含む）　X・・・対応不可能

項番			要求仕様	対応可否
		16	確定したレポートの修正は、権限をもったユーザのみが確定解除を行うことにより可能となること。再度確定した場合には、所見レポートの版が更新されること。過去の版の内容は簡単に参照出来ること。	
		17	レポートの印刷が可能であること。プリンタへの出力、PDFファイルへの出力が可能であること。	
		18	印刷時、印刷内容が1ページにわずかに収まらない場合、１枚に圧縮して印刷を行う機能を有すること。	
		19	レポート登録者用のメモ機能を有すること。但し、電子カルテシステム等でのレポート参照時は、メモが表示されないこと。	
	7	レポート入力補助		
		1	レポート入力時、画像ビューワを起動して検査時の画像を参照出来ること。	
		2	検査種別により起動する画像ビューワを変更出来ること。	
		3	他院からの取込み画像が参照出来ること。また、オーダ番号やアクセッション番号がない画像も参照出来ること。	
		4	キー画像には直線、矢印線、円、塗潰し円、四角、塗潰四角、フリーフォーム、フリーハンド、テキストといったアノテーションを追加出来ること。	
		5	線の太ささは任意に変更出来ること。	
		6	アノテーションの色を任意に変更出来ること。	
		7	フリーフォーム、フリーハンドで描かれた矩形の内部を任意のパターンで塗潰すことが出来ること。	
		8	テキストはパターンを登録でき、一覧より選択して入力出来ること。	
		9	登録されたイメージの一覧より選択したイメージを、キー画像上にスタンプ出来ること。	
		10	キー画像の拡大縮小、パン、トリミングが可能であること。	
		11	よく使用する文章を定型文として登録し、レポート記入時に簡単な操作で流用出来ること。	
		12	定型文をテキスト入力エリア毎に登録し、流用出来ること。	
		13	定型文は、グループ単位、ユーザ単位で登録出来ること。	
		14	定型文は検査種に関係なく共通で使用するもの、特定の検査種のみで使用するもの、さらに特定の検査部位のみで使用するものと分けて登録することが出来ること。	
		15	設定により、レポート記入画面に表示された検査情報の検査種あるいは部位に該当する定型文が自動的に定型文選択エリアに表示されること。	
		16	テンプレート入力された内容を文章に変換し、テキスト入力エリアに反映することが出来ること。	
		17	過去の検査の一覧が表示され、検査情報およびレポートの参照が出来ること。また、画像ビューワを起動し、過去画像の参照も出来ること。	
		18	検査歴のレポートより入力内容を流用出来ること。	
		19	管理医欄を設け、設定した放射線科の医師名が自動表示されること。	
	8	症例検索		
		1	記入済のレポートに対して、キーワード指定による高速な全文検索が行えること。	
		2	検索キーワードは複数指定ができ、完全一致、部分一致を指定して検索出来ること。	
		3	症例検索は全文検索と検査情報や患者情報の各項目を検索条件として組み合わせて行うことが出来ること。	
		4	検索結果には、レポート本文およびキー画像が表示されること。	
		5	検索結果に表示する項目は設定により以下の内容がユーザ毎に指定出来ること。 リスト出力項目、出力項目タイトル、出力項目表示順序、出力項目のフォーマット・方向・幅	
		6	検索結果に対してさらに検索条件を指定して検索を行う絞込み検索が可能であること。	
		7	検索結果をCSV出力出来ること。キー画像も出力したい場合はHTML形式で出力出来ること。	
		8	検索結果よりレポートを選択し、印刷、検査情報・レポートの参照、画像ビューワ起動による画像参照が出来ること。	
		9	レポート登録者用のメモからレポートの検索が出来ること。	

Ⅲ．放射線部門システム（PACS／REPORT）機能仕様

対応可否記号：　○・・・全て対応可能（本費用内でのカスタマイズ対応等含む）　X・・・対応不可能

項番			要求仕様	対応可否
	9	検査指示		
		1	将来的に電子カルテシステムや放射線情報システム更新時に、追加費用なく検査指示の対応が可能なシステム構成にしておくこと。	
		2	検索条件に従ってオーダの一覧を表示し、指定したオーダに対して放射線科医が検査指示を入力する機能を有すること。	
		3	一覧よりオーダを選択することにより、該当オーダの検査詳細情報、該当患者の検査歴の参照が可能であること。これらの情報はウィンドウ毎にまとまって表示され、ウィンドウの配置および表示・非表示をクライアント毎で設定可能であること。	
		4	検査歴では、検査詳細情報、実施情報、検査時画像、レポートが参照出来ること。	
		5	検査指示を入力する際には、フリー入力に加えて定型コメント、検査歴からのコピーが可能であること。	
		6	定型コメントの編集は、コメント入力が可能なユーザであれば定型コメント選択欄から容易に可能であること。	
		7	検査指示内容とともに、入力日時、入力者が登録されること。	
	10	データ分析、統計帳票出力		
		1	蓄積されたデータを多次元的に解析することが出来るデータ分析機能を有すること。	
		2	ユーザ自身で分析項目や分析レベル、分析値を組み合わせて必要な情報を導き出すことが出来ること。	
		3	分析対象データにより、読影業務分析が可能であること。	
		4	分析結果は数値データあるいはグラフ（棒グラフ、折れ線グラフ、円グラフ）での表示が出来ること。	
		5	分析結果をExcel形式のファイルに出力することが出来ること。	
		6	読影業務の統計帳票の出力が可能であること。	
	11	WEB参照		
		1	電子カルテシステム等からのレポート参照を可能とするためのWEB参照機能を有すること。	
		2	参照元からの呼び出し条件により、検索条件指定可能なレポートリストを表示出来ること。	
		3	検査実施情報の参照も可能であること。	
		4	HISからレポートが参照出来るタイミングは検査種毎に設定可能であること。設定内容については当院と協議の上、決定すること。	
		5	レポートの印刷ができること。	
		6	管理医欄を設け、設定した放射線科の医師名が自動表示されること。	
	12	他システム連携		
		1	現在運用中の放射線情報システムより患者情報、オーダ情報を受信出来ること。また、これらのシステムに対してレポート確定通知情報を送信することが出来ること。相手側の連携費用は本費用に含むこと。	
		2	医用画像管理システムに対して患者情報、オーダ情報、検査実施情報を送信出来ること。また、医用画像管理システムより画像到着通知情報を受信出来ること。連携費用は本費用に含むこと。	
7	ハードウェア			
	1	基本要件		
		1	医療機器については、入札時点で薬事法に定められた製造の承認を得ている物品であること。	
		2	納入する機器は、設置までの間に装置の仕様変更やソフトウェアのバージョンアップがあった場合には、最新の仕様で引き渡すこと。	
		3	データベースサーバとアプリケーションサーバは分離し、更にアプリケーションサーバにおいては2台以上有して負荷分散が可能であること。また、これらは一元で管理されるアーキテクチャーであること。	
		4	各サーバまたは各端末の時刻を同期させる機能を有すること。標準時刻の取得方法は、指定しないが関連する全ての費用を含むこと。	
		5	導入するサーバ、クライアント全てに対してコンピュータウイルス対策を施すこと。	

Ⅲ．放射線部門システム（PACS／REPORT）機能仕様

対応可否記号：　○・・・全て対応可能（本費用内でのカスタマイズ対応等含む）　X・・・対応不可能

項番			要求仕様	対応可否
		6	画像記録媒体は、磁気ディスク装置であること。	
	2		サーバ（PACS/REPORTサーバ，Thinsliceサーバ）	
		1	インテル® Xeon® プロセッサーE5-2450 (2.10GHz/8 コア)x1 相当以上	
		2	12GB以上のメモリを搭載すること。	
		3	ディスク構成は実行容量(Raid適用後)でPACS領域40TB以上、Thinsliceサーバ領域15TB程度の独立した筐体を有しRAID6相当以上の冗長性を備えた構造であること。	
		4	OSはMicrosoft Windows 2008 ServerR2日本語版の機能相当以上であること。	
		5	リダンダントNICおよび、電源二重化であること。	
		6	全サーバの総電源容量を確保出来る無停電電源装置を備え、停電時に約5分以上電源供給が可能であること。また、本無停電電源装置は停電を通知するアラーム機能を有し、かつ停電した旨をサーバに通知し、自動でシャットダウン出来ること。	
		7	各ユニットが19インチラックに格納されていること。	
		8	本サーバ格納ラック内には、全体制御用の液晶モニタを1基以上有すること。	
		9	1000Base-T以上のネットワークに対応すること。	
	3		サーバ（3次元画像解析サーバ）	
		1	CPUはインテル社製ヘキサコアIntel Xeon プロセッサーdual相当以上を有すること。	
		2	メモリ容量は64GBを搭載すること。	
		3	OSは Windows Server 2008 Server Enterprise Edition 64bit 相当以上であること。	
		4	物理容量250GB以上のハードディスクを備え、RAID1適用後の物理容量として1.0TB以上のサーバを有すること。	
		5	データの追加保存に供するRaid5、15TB以上の増設ディスクを有すること。	
		6	無停電電源装置を備え、停電時に約5分以上電源供給が可能であること。また、本無停電電源装置は停電を通知するアラーム機能を有し、かつ停電した旨をサーバに通知し、自動でシャットダウンできること。	
	4		検像端末	
		1	CPUはCore i5-4570 プロセッサー（3.2GHz、キャッシュ6MB）相当以上であること。	
		2	メモリは4GB以上を搭載すること。	
		3	ディスクドライブ はRaid構成とし、500GB以上の容量のものを搭載していること。	
		4	OSはWindows 7 Professional SP1又はそれ以上の仕様であること。	
		5	光学ドライブはDVDスーパーマルチドライブを搭載していること。	
		6	モニタは医療用2Mカラー液晶ディスプレイとすること。	
	5		3次元画像解析端末（専用端末、クライアント端末）	
		1	CPUはインテル社製クアッドコアintel Corei5 Quad プロセッサー相当以上を有すること。	
		2	メモリは2GB以上であること。	
		3	ライセンスの追加なしに全てのクライアント端末で3D処理及び解析作業が行えること。	
		4	各クライアントの患者リストでは画像サーバーのデータも表示され確認可能であること。	
		5	画像サーバーのクライアントでも3D処理及び解析処理が可能であること。	
		6	画像サーバーのクライアントでは患者選択をする必要なくワークステーションを起動可能であること。	

放射線部門システム対象医療機器及び周辺機器一覧

2014.07.28

機器設置場所（部署/部屋）		No.	現状									更新	システム接続検討								モダリティ側費用	備考
			名称	数量	メーカー	型番	導入年月	NW対応	画像保存		使用形態	使用頻度		画像保存		RIS接続	DICOM Service					
									接続	取込方法				接続	取込方法		MWM	MPPS	Q/R	Storage		
放射線検査	一般撮影室	1	CR装置	1	コニカミノルタ	REGIUS 190		○	PACS	NWデータ連携	固定		継続	PACS	NWデータ連携	○	○	○	○	○	○	CRコンソールから検像端末を介し，PACSへ送信．フラットパネル1台あり（AeroDR1417）
		2	CR装置	1	コニカミノルタ	REGIUS 210		○	PACS	NWデータ連携	固定		継続	PACS	NWデータ連携	○	○	○	○	○	○	
		3	CR装置	1	コニカミノルタ	REGIUS 370		○	PACS	NWデータ連携	固定		継続	PACS	NWデータ連携	○	○	○	○	○	○	
	乳房撮影室	4	CR装置	1	コニカミノルタ	REGIUS 190		○	PACS	NWデータ連携	固定		継続	PACS	NWデータ連携	○	○	○	○	○	○	CRコンソールから検像端末を介し，PACSへ送信．
	X線TV1	5	骨密度測定装置	1	GEメディカル	PRODIGI		○	PACS	NWデータ連携	固定		継続	PACS	NWデータ連携	○	○	○		○	○	
	X線TV2	6	X線テレビ装置	1	日立メディコ	EXAVISTA	H24.3	○	PACS	NWデータ連携	固定		継続	PACS	NWデータ連携	○	○	○	○	○	○	
	X線TV3	7	X線テレビ装置	1	日立メディコ	EXAVISTA	H21.3	○	PACS	NWデータ連携	固定		継続	PACS	NWデータ連携	○	○	○	○	○	○	
	CT室	8	CT装置	1	東芝メディカル	Aquillon ONE	H19.1	○	PACS シンスライスサーバ	NWデータ連携	固定		継続	PACS シンスライスサーバ	NWデータ連携	○	○	○	○	○	○	検像端末を介し，PACS，シンスライスサーバへ送信．（検像端末故障時は，PACS，シンスライスサーバへ直接送信）
	CT・MR操作室	9	3次元画像ワークステーション	1	AZE	雷神	H25.5	○	PACS	NWデータ連携	固定		継続	PACS	NWデータ連携				○	○	○	シンスライスサーバより画像を取得．解析画像をPACSへ送信．
	読影室	10	3次元画像ワークステーション	1	アミン	zioStation		○	-	-	固定		継続	-	-				○	○		レンタル品．次期PACS更新時、シンスライスサーバとの再接続は行わない．
	RI室	11	Spect CT	1	日立メディコ	BrightViw X	H25.3	○	PACS	NWデータ連携	固定		継続	PACS	NWデータ連携	○	○	○	○	○	○	
	頭部ＣＴ室	12	頭部用X線CT装置	1	モリタ製作所	MCT-HN F17	H26.3	○	PACS	NWデータ連携	固定		継続	PACS	NWデータ連携	○	○			○	○	
	MRI室	13	MRI装置	1	シーメンス	MAGUNETOM AVANTO		○	PACS	NWデータ連携	固定		継続	PACS	NWデータ連携	○	○			○	○	検像端末を介し，PACSへ送信．（検像端末故障時は，PACSへ直接送信）
	技師室	14	AOC（検像機能付き）	1	アレイ		H21.3	○	PACS	NWデータ連携	固定		継続	PACS	NWデータ連携				○	○	○	現在は画像の修正（検像）も兼ねている．
		15	デジタイザ	1	アレイ	2905M			-	-	固定		継続	-	-							AOCと接続
		16	ドライイメージャ	1					-	-	固定		継続	-	-							AOCと接続
	-	17	検像端末	1	-	-	-	-	-	-	-	-	新規	PACS シンスライスサーバ	NWデータ連携	○	○		○	○	○	画像の並び替えが可能なもの．
	-	18	3次元画像ワークステーション	1	-	-	-	-	-	-	-	-	新規	PACS	NWデータ連携				○	○	○	シンスライスサーバより画像を取得．解析画像をPACSへ送信．
	血管撮影室	19	血管撮影装置	1	シーメンス	ArtisZee BA		○	PACS 循環器動画Ｓ	NWデータ連携	固定		継続	PACS 循環器動画Ｓ	NWデータ連携	○	○	○	○	○	○	静止画：PACSへ送信 動画：循環器動画Sへ送信．
		20	ポリグラフシステム	1	日本光電			○	循環器動画Ｓ	NWデータ連携	固定		継続	循環器動画Ｓ	NWデータ連携	○	○			○		
		21	IVUS	1	ボストン・サイエンティフィック	Galaxy²™ IVUS Imaging System		○	循環器動画Ｓ	NWデータ連携	固定		継続	循環器動画Ｓ	NWデータ連携	○	○			○		
		22	心臓用3Dマッピング装置	1	ジョンソン・エンド・ジョンソン	CARTO®3			-	-	固定	1件	継続	-	-	○	○			○		将来，システムへの取込みを検討．
		23	超音波	1	シーメンス	X300		○	循環器動画Ｓ	NWデータ連携	移動		継続	循環器動画Ｓ	NWデータ連携	○	○			○		
生理検査	エコー室２	24	超音波	1	東芝メディカル	Aplio™400		○	PACS 循環器動画Ｓ	NWデータ連携	固定		継続	PACS 循環器動画Ｓ	NWデータ連携	○	○			○	○	腹部エコー：PACSへ送信 心エコー：循環器動画Sへ送信
	心エコー室	25	超音波	1	フィリップス	IE33		○	PACS 循環器動画Ｓ	NWデータ連携	固定		継続	PACS 循環器動画Ｓ	NWデータ連携	○	○			○	○	
外来	循環器（A-10診察室）	26	超音波	1	フィリップス	CX50	H26.3	○	PACS 循環器動画Ｓ	NWデータ連携	移動		継続	PACS 循環器動画Ｓ	NWデータ連携	○	○			○	○	静止画：PACSへ送信 動画：循環器動画Sへ送信．
病棟	5階南	27	超音波 ※ポータブル	1	フィリップス	CX50（3DTEE）	H26.3	○	PACS 循環器動画Ｓ	NWデータ連携	移動		継続	PACS 循環器動画Ｓ	NWデータ連携	○	○			○	○	
手術室	手術室(機材庫)	28	CR装置	1	コニカミノルタ	REGIUS 110		○	PACS	NWデータ連携	固定		継続	PACS	NWデータ連携	○	○	○	○	○	○	CRコンソールから検像端末を介し，PACSへ送信．
	第４手術室	29	移動型CT	1	Medtronic	O-ARM		○	PACS	NWデータ連携	移動		継続	PACS	NWデータ連携	○	○	○		○	○	
地域医療連携室		30	AOC	1	アレイ			-	-	-	-		新規	PACS	NWデータ連携				○	○	○	RISとの患者情報連携は行わない．

放射線部門　次期システム構成図（想定）

2014.07.28

ＣＴ室
- ＣＴ装置

ＭＲＩ室
- ＭＲＩ装置

一般撮影室１，一般撮影室２，乳房撮影室，手術室
- ＣＲコンソール（CS-3，CS-7）

ＲＩ室
- Ｓｐｅｃｔ ＣＴ

Ｘ線ＴＶ室１
- 骨密度測定装置

Ｘ線ＴＶ室２，Ｘ線ＴＶ室３
- X線テレビ装置

頭部ＣＴ室
- 頭部用X線CT装置

手術室
- 移動型ＣＴ装置

生理検査室
- 超音波検査装置（Ａｐｌｉｏ４００）

心エコー室
- 超音波検査装置（ＩＥ３３）
- ＫＡＤＡ－Ｖｉｅｗ

手術室（ＣＥ室）
- ＫＡＤＡ－Ｖｉｅｗ

循環器外来　診察室
- 超音波検査装置（ＣＸ５０）

技師室
- 検像システム
  ※シリーズ画像の並び替えができるもの
- CT画像のみ
  ※検像システム故障時は、直接PACS、シンスライスサーバへ送信
- デジタイザー
- ドライイメージャ
- ＡＯＣ（外部画像取込，ＣＤ出力，検像，ＲＩＳ）

サーバ室
- 循環器動画サーバ

５南病棟
- ＫＡＤＡ－Ｖｉｅｗ
- 超音波検査装置（ＣＸ５０　３ＤＴＥＥ）

ＣＴ機械室
- シンスライスサーバ
- ＰＡＣＳ/ＲＥＰＯＲＴサーバ

アンギオ室
- ＫＡＤＡ－Ｖｉｅｗ
  ＫＡＤＡ－Ｒｅｐｏｒｔ
- 血管撮影装置
- ＩＶＵＳ
- ポリグラフ
- 超音波検査装置（Ｘ３００）

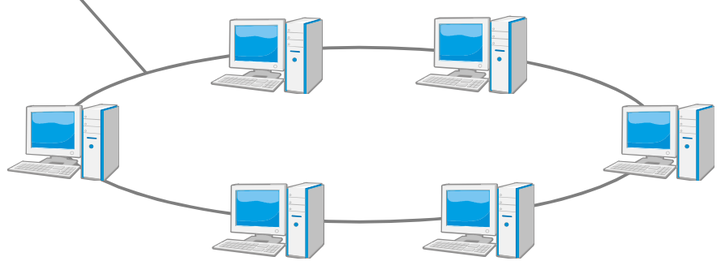
※紹介患者の循環器動画はこの端末で取込みを行う．

ＣＴ操作室
- AZE　３Ｄ画像解析システム
  VirtualPlace（本体）
- ３Ｄ画像解析システム（本体）

読影室
- 読影端末
- 読影端末
- ZIO　３Ｄ画像解析システム
  ※レンタル

地域医療連携室
- ＡＯＣ（他院内視鏡画像取込用）

院内の電子カルテシステム端末（ＨＩＳ端末）
※電子カルテシステムから，画像/レポートを参照



凡例
- 読影端末
- ＫＡＤＡ端末
- ＨＩＳ端末
- 専用端末
- AZE端末

※AZE　３Ｄ画像解析システムを利用できる端末
（AZE端末）
- ・読影室×１
- ・ＣＴ操作室×１
- ・ＲＩ操作室×１
- ・技師室×１
- ・アンギオ室×１

※３Ｄ画像解析システムを利用できる端末
（AZEの端末，KADA，読影端末へ相乗り）
- ・ＣＴ操作室×１
- ・ＲＩ操作室×１
- ・技師室×１
- ・５南病棟×１
- ・読影室×２

※整形画像計測機能を利用する端末
- ・整形外科：【計測機能のみ】
  外来×３，教授室×１
  【計測機能，テンプレート機能】
  病棟×２，外来×１，医局×１
  手術室（４番，５番）×各１

※REPORT機能必須端末
- ・放射線科：読影室×２，教員室×１
- ・循環器内科：生理検査室（エコー室）×３
  生理検査室（スタッフ通路）×３
  アンギオ室×１
- ・感染症・呼吸器内科：教授室×１
  外来（A-4，A-5）×各１
  ５北病棟×２